

人材育成セミナー

# 映文連 TANPEN塾

集中講座(5回シリーズ)

2013年1月31日～2月28日(毎週木曜日) 18:00～21:00

今、どんな映像が求められているか。長い歴史をもつ、「短編(TANPEN)映像」も変わりつつあります。この講座は今日のメディア状況を踏まえながら、これから映像業界で活躍する人材育成をめざす講座です。業界で活躍する講師陣をお招きし、様々な角度から映像のつくり方を伝授します。1回の講義に2名の講師を組み合わせた多彩なカリキュラム。これから業界へ入る学生や制作プロダクションで働く若手制作者は勿論のこと、すでに経験を積んだ方々にも関心を持って頂ける講座内容となっています。是非ご参加ください。

## 第1回

2013年1月31日(木) 18:00～21:00

会場：(株)クリーク・アンド・リバー社 2F ホール(千代田区麴町2-10-9)



### 第1部 『企画する～人に伝えるとはどういうことか～』 (60分)

Kenji Shiratsuchi / 白土 謙二 (電通 執行役員、クリエイティブ・ディレクター)

面白いものをつくるにはどうすればよいか。よりよく感動的に伝えるにはまず「何を伝えるか」自分の伝えたいことを明らかにし、次に「どのように伝えるか」、クリエイティブな表現の手法を磨くこと。人に伝えることはどういうことか、日本を代表するクリエイティブ・ディレクターが一晩に100案出してと言われても困らない「企画の立て方」の極意を語る。



### 第2部 『ノンシアトリカル映像の未来を探る』 (60分)

Yasushi Kase / 加瀬 泰 (電通テック シニアディレクター)

CMから博展映像まで、あらゆる種類の非劇場系短編映像の演出を手掛けてきたディレクターが、その企画から実制作までの作法をまとめる。クライアントとの折衝やスタッフワークから、真に自身の「つくりたいもの」を導き出すモチベーションとは何か?与えられた課題に対する映像的解決への道すじを、これまでの経験を交えて語る。

※毎回講義のあと対談(質疑応答含む)があります(40分)

募集人員：40名(申込み先着順、定員の都合上、全コース申込みを優先いたします)

受講料：5回全コース25,000円(税込)、会員割引22,500円、1回券(一般)6,000円

問い合わせ・申込先：〒103-0016 東京都中央区日本橋小網町17-18 藤和日本橋小網町ビル7階  
(公社)映像文化製作者連盟(TEL:03-3662-0236・FAX:03-3662-0238)

申込み方法：申込み欄(裏面)に必要事項をご記入のうえ、FAX又はE-mailでお送りください。  
その後、受講料の振込先をご連絡しますのでお支払いください。お振込の確認後、受講券をお送りいたします。

主催:公益社団法人 映像文化製作者連盟

**第2回** 2013年2月7日(木) 18:00~21:00



**第1部 『“新たなテレビ”の可能性を求めて』 (60分)**

Kohei Nagashima / 長嶋 甲兵

(テレコムスタッフ プロデューサー)

誰でも日記を書くように映像作品を作る時代。制約の多い“テレビ”は終わったとされる。しかし、ルールに縛られず、自由に表現できることが、ほんとうに面白いのか?問題作を世に問い続けてきた講師が“新たなテレビ”の可能性と魅力を語る。



**第2部 『ぼくのCMディレクション』 (60分)**

Shinya Nakajima / 中島 信也

(東北新社 取締役、CMディレクター)

企業の広告・宣伝活動でありながら、社会に強い伝播力をもつテレビCM。数多くCM演出を手がけ、デジタル技術を駆使した娯楽性の高いCMでは数々の賞を受賞したCMディレクターが語るCM制作哲学と、これからのテレビコマースの展望。

**第3回** 2013年2月14日(木) 18:00~21:00



**第1部 『CG映像のスタイルについて』 (60分)**

Hiroyuki Hayashida / 林田 宏之

(リンダ 代表取締役、CGアーティスト)

一口にCGと言ってもフォトリアルなものからイラスト的なもの、芸術性の高いものなどスタイルは様々。特に広告に於いては趣旨によって様々な技法を使い分ける必要があり、CGアーティストとして、どのように対応するのか、また自分の芸術性と仕事とのバランスをどうとっていくかなどを話す。



**第2部 『VFX・質感とリアルさを追求する』 (60分)**

Yu Nishida / 西田 裕

(オムニバス・ジャパン VFXスーパーバイザー)

映画『BRAVE HEARTS 海猿』の制作事例から、現実には見たこともない飛行機事故の映像をどう表現し、リアルに見せるか・メイキングを交え、撮影現場の取り組みや仕上げを通して、“質感”や“リアルさ”を追求しながら、作品において必要とされる映像をいかに作り上げていくかについて語る。

**第4回** 2013年2月21日(木) 18:00~21:00



**第1部 『映像をどう撮るか』 (60分)**

Koichi Kawakami / 川上 皓市

(撮影監督)

『サード』で撮影監督デビュー以来、数多くの映画を撮影し、多彩な受賞歴を持つ撮影監督が語る映像を撮る基礎知識。短編と長編の違い、フィルムとデジタルの違い、撮影する対象との関係、映像表現における作り手の個性とは何かなどを話す。



**第2部 『ドキュメンタリーをつくる』 (60分)**

Masaki Haramura / 原村 政樹

(桜映画社 記録映画監督)

入社以来、短編映画・TV番組等を制作。長編ドキュメンタリー『海女のリャンさん』『里山っ子たち』などで実績を持つ記録映画監督が語るドキュメンタリー演出論。ドキュメンタリーをどう演出するか。何をテーマにするか。対象とどう向き合うか。インタビューの仕方、人間の描き方などを話す。

**第5回** 2013年2月28日(木) 18:00~21:00



**第1部 『フルドーム映像で想いを伝える』 (60分)**

Hiromitsu Kohsaka / 上坂 浩光

(ライブ 代表取締役、監督・CGアーティスト)

「HAYABUSA -BACK TO THE EARTH-」などで臨場感あふれる感動的なフルドーム映像を手掛けてきたCGアーティストが語るドーム映像ならではの演出方法や見せ方。“宇宙”の描き方、CGと実写合成の方法、いかに作り手の想いを伝えるかなどを語る。



**第2部 『大型ドーム映像を演出する』 (60分)**

Satoru Onishi / 大西 悟

(太陽企画 ディレクター)

数多くの全天周映像やプラネタリウム作品を手掛けているディレクターが語る大型ドーム映像のつくり方。CGと実写の融合のさせ方、科学映像演出の面白さとその可能性を各事例から詳しく紹介する。

申込書

映文連  
TANPEN塾  
人材育成セミナー

会社名 \_\_\_\_\_

住所 \_\_\_\_\_

電話番号 \_\_\_\_\_ FAX \_\_\_\_\_

ふりがな \_\_\_\_\_  
氏名 \_\_\_\_\_

受講希望コース \_\_\_\_\_

全5回コース 名  1回券 第( )回 名

e-mail \_\_\_\_\_